
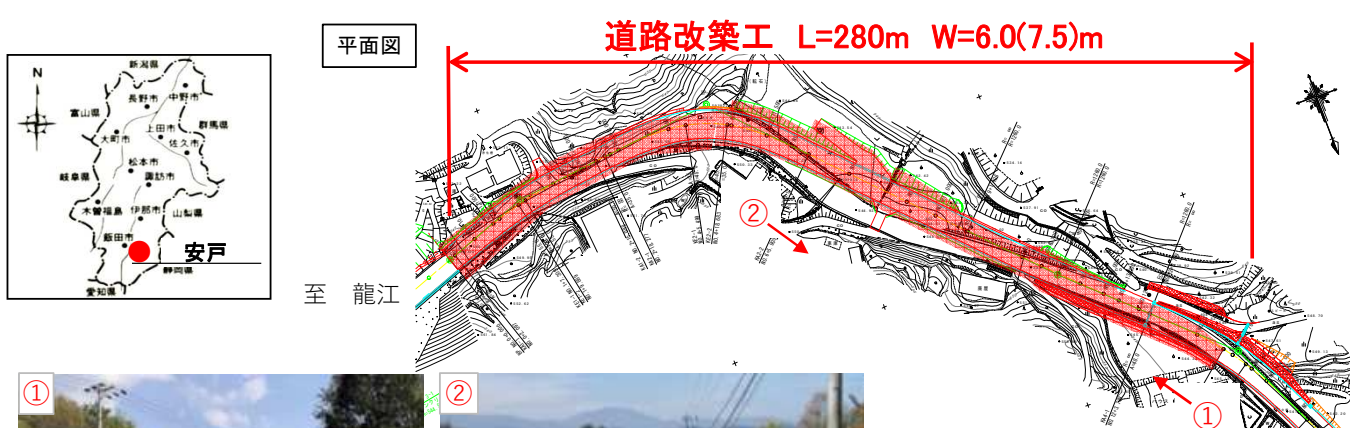
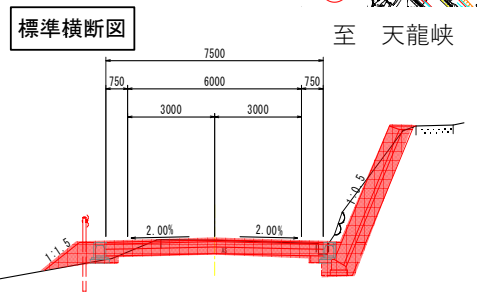




事業名		道路改築(小規模)		路河川名等	(一) 米川飯田線					
事業毎の通番		1	市町村名	飯田市	箇所名(ふりがな)	安戸(やすんど)				
事業の位置づけ	県総合5か年計画における位置づけ	1-6 ① 県民生活の安全確保		SDGsの関連目標						
	関連する計画や重点施策	信州みちビジョン		関連する事業プロジェクト						
	現状と課題	一般県道米川飯田線は、飯田市千代地区と飯田市街を結ぶ路線であり、沿線住民の重要な生活道路となっている。当該箇所は、幅員狭小で線形不良のうえ、見通しが悪く車両の安全な通行に支障をきたしている状況にある。								
	事業目的	当区間の道路整備により、安全で円滑な走行空間の確保を図る。								
事業概要	着手年度	2025年度(令和7年度)		事業期間	7年間	事業費(千円)	財源内訳(千円)			
	完了年度(予定)	2031年度(令和13年度)					国庫	その他	県債	一般財源
	全体事業内容	道路改築工 延長0.28km 幅員6.0(7.5)m			300,000			270,000	30,000	
事業概要	<p>平面図</p>  <p>道路改築工 L=280m W=6.0(7.5)m</p> <p>至 龍江</p> <p>至 天龍峡</p> <p>標準横断面図</p> 									
	 <p>① 至 天龍峡</p>  <p>② 至 天龍峡</p>									
	<p>事業概要</p>									
事業効果	主な受益対象	自動車:1,616台/日(計画交通量)								
	期待される効果	走行時間の短縮、走行経費の減少 地域間交流の促進				費用便益比(B/C) ※B=便益、C=費用	1.1			
	人口減少を踏まえた将来の活用見込み	地域の重要な生活道路であり、将来にわたり利用される。								
計画熟度	地域からの要望経緯及び地域の関わり	毎年、飯田市から建設事務所長へ要望あり。								
	事業説明等の経緯	R6.8月に愛護会総会(期成同盟会)を実施し、整備内容について沿線地区の合意形成が図られている。								
評価結果	所管課の意見	地域の重要な生活道路であり、観光・交通拠点へのアクセス道路でもあるため、道路改築により安全で円滑な走行空間を確保する必要があることから、事業着手が妥当と判断する。					妥当性評価 ※	優先度評価 ※		
	コンプライアンス・行政経営課の意見	所管課の意見が妥当であると判断する。					○	3.2		
	県の評価案	事業着手	評価監視委員会意見	—		評価の決定	事業着手			

※【妥当性評価】事業実施の妥当性を「○」「×」で判定 ※【優先度評価】事業着手の優先度を1～5の5段階で評価(数字が大きいほど優先度が高い)

(様式1-2) 新規評価シート

事業名		道路改築(小規模)		路河川名等	(一)土合松本線					
事業毎の通番		2	市町村名	松本市	箇所名(ふりがな)	南耕地(みなみこうち)				
事業の位置づけ	県総合5か年計画における位置づけ	1-6 ① 県民生活の安全確保		SDGsの関連目標						
	関連する計画や重点施策	信州みちビジョン		関連する事業プロジェクト						
	現状と課題	当路線は朝日村と松本空港を繋いでおり、松本空港周辺環境整備計画に位置付けられている。現道は幅員狭小で大型車とのすれ違いが困難な状況にある。また、周辺には養護学校があり、歩行者や車両の通行に支障をきたす状況となっている。								
	事業目的	当区間の道路整備により、安全で円滑な走行空間の確保を図る。								
着手年度		2025年度(令和7年度)		事業期間	6年間	事業費(千円)	財源内訳(千円)			
完了年度(予定)		2030年度(令和12年度)					国庫	その他	県債	一般財源
全体事業内容		道路改築工 延長0.27km 幅員5.5(9.25)m				150,000			135,000	15,000
事業概要										
	<p>平面図</p> <p>全体 L=270m W=5.5(9.25)m</p> 									
	<p>①</p>  <p>至 松本空港</p>					<p>②</p>  <p>至 朝日村</p>				
<p>標準横断面図</p> 										
事業効果	主な受益対象	自動車:644台/日(計画交通量)								
	期待される効果	走行時間短縮、走行経費削減、交通事故削減 地域間交流の促進				費用便益比(B/C) ※B=便益、C=費用		1.1		
	人口減少を踏まえた将来の活用見込み	沿線住民の生活道路であり、松本空港へのアクセス道路にもなるため、将来にわたり利用される。								
計画熟度	地域からの要望経緯及び地域の関わり	毎年、今井地区長会連合会より建設事務所に要望あり。								
	事業説明等の経緯	松本市を通じて道路事業の整備内容について説明し、合意形成が図られている。								
評価結果	所管課意見	地域の重要な生活道路であり、交通・産業拠点へのアクセスを担う幹線道路でもあるため、道路改築により安全で円滑な走行空間を確保し、歩行者等の安全性の向上を図る必要があることから、事業着手が妥当と判断する。							妥当性評価※	優先度評価※
	コンプライアンス・行政経営課の意見	所管課の意見が妥当であると判断する。							○	3.2
	県の評価案	事業着手	評価監視委員会意見	—		評価の決定	事業着手			

※【妥当性評価】事業実施の妥当性を「○」「×」で判定 ※【優先度評価】事業着手の優先度を5点満点で評価(数字が大きいほど優先度が高い)

(様式1-2) 新規評価シート

事業名		道路改築(小規模)		路河川名等	(一)大野田梓橋(停)線					
事業毎の通番		3	市町村名	松本市	箇所名(ふりがな)	丸田(まるた)				
事業の位置づけ	県総合5か年計画における位置づけ	1-6 ① 県民生活の安全確保		SDGsの関連目標						
	関連する計画や重点施策	信州みちビジョン		関連する事業プロジェクト						
	現状と課題	一般県道大野田梓橋(停)線は、安曇地区と梓川地区を結ぶ生活道路となっている。当該箇所は幅員狭小ですれ違いが困難であり、車両の通行に支障をきたす状況となっている。								
	事業目的	当区間の道路整備により、安全で円滑な走行空間の確保を図る。								
事業概要	着手年度	2025年度(令和7年度)		事業期間	6年間	事業費(千円)	財源内訳(千円)			
	完了年度(予定)	2030年度(令和12年度)					国庫	その他	県債	一般財源
	全体事業内容	道路改築工 延長0.29km 幅員5.5(7.0)m				250,000			225,000	25,000
事業概要										
										
	主な受益対象	自動車:3,352台/日(計画交通量)								
事業効果	期待される効果	走行時間短縮、走行経費削減、交通事故削減 地域間交流の促進			費用便益比(B/C) ※B=便益、C=費用	1.5				
	人口減少を踏まえた将来の活用見込み	沿線住民の生活道路であり、安曇野方面と上高地方面を結ぶ道路でもあるため、将来にわたり利用される。								
計画熟度	地域からの要望経緯及び地域の関わり	梓川地区まちづくり協議会・波田地区長会連合会より建設事務所に毎年要望あり。								
	事業説明等の経緯	松本市を通じて道路事業の整備内容について説明し、合意形成が図られている。								
評価結果	所管課の意見	地域の重要な生活道路でもあるため、道路改築により安全で円滑な走行空間の確保及び歩行者の安全性の向上を図る必要があることから、事業着手が妥当と判断する。						妥当性評価※	優先度評価※	
	コンプライアンス・行政経営課の意見	所管課の意見が妥当であると判断する。						○	3.2	
	県の評価案	事業着手	評価監視委員会意見	—		評価の決定	事業着手			

事業名		道路改築(小規模)		路河川名等	(主)長野信州新線				
事業毎の通番		4	市町村名	長野市	箇所名(ふりがな)	今泉(いまいずみ)			
事業の位置づけ	県総合5か年計画における位置づけ	1-6 ① 県民生活の安全確保		SDGsの関連目標					
	関連する計画や重点施策	信州みちビジョン		関連する事業プロジェクト					
	現状と課題	当路線は、長野市篠ノ井と長野市信州新町を結ぶ幹線道路である。当該箇所は幅員が5m以下で狭小な区間が連続し、かつ曲線区間において家屋が連担しており、さらに視距の確保も困難であるため、すれ違い等において交通の支障となっている。特に大型車や定期バスのすれ違いには困難な状況にある。							
	事業目的	当区間の道路整備により、安全で円滑な走行空間の確保を図る。							
着手年度	2025年度(令和7年度)		事業期間	4年間	事業費(千円)	財源内訳(千円)			
完了年度(予定)	2028年度(令和10年度)					国庫	その他	県債	一般財源
全体事業内容	道路改築工 延長0.42km 幅員5.5(7.0)m				163,000		146,700	16,300	
事業概要									
									
事業効果	主な受益対象	自動車:2,309台/日(計画交通量)							
	期待される効果	走行時間の短縮、走行経費の減少 地域間交流の促進				費用便益比(B/C) ※B=便益、C=費用	1.1		
	人口減少を踏まえた将来の活用見込み	地域の重要な生活道路であり、国道19号災害時には信州新町方面から長野市街地への迂回路としても機能するため、将来にわたり利用される。							
計画熟度	地域からの要望経緯及び地域の関わり	信更・大岡・信州新町間県道改良促進期成同盟会から、毎年建設事務所長へ要望あり。							
	事業説明等の経緯	期成同盟会及び地区役員を通じ、整備内容について沿線地区の合意形成が図られている。							
評価結果	所管課の意見	地域の重要な生活道路であり、国道19号災害時の迂回路としても機能するため、道路改築により安全で円滑な走行空間を確保する必要があることから、事業着手が妥当と判断する。					妥当性評価※	優先度評価※	
	コンプライアンス・行政経営課の意見	所管課の意見が妥当であると判断する。					○	3.2	
	県の評価案	事業着手	評価監視委員会意見	—		評価の決定	事業着手		

事業名		道路改築(小規模)		路河川名等	(主)信濃信州新線					
事業毎の通番		5	市町村名	長野市	箇所名(ふりがな)	菅谷地(すげやち)				
事業の位置づけ	県総合5か年計画における位置づけ	1-6 ① 県民生活の安全確保			SDGsの関連目標					
	関連する計画や重点施策	信州みちビジョン			関連する事業プロジェクト					
	現状と課題	当路線は長野市鬼無里と戸隠、信濃町を結ぶ路線であり、沿線住民の重要な生活道路となっている。当該区間は幅員も狭く車輦(特に大型車)の通行に支障をきたしており、円滑な交通の支障となっていることから、対策を実施し、安心・安全な通行を確保したい。								
	事業目的	道路改築により幅員狭小区間の解消し、道路利用者の安全性、利便性の向上を図りたい。								
着手年度		2025年度(令和7年度)		事業期間	4年間	事業費(千円)	財源内訳(千円)			
完了年度(予定)		2028年度(令和10年度)					国庫	その他	県債	一般財源
全体事業内容		道路改築工 延長0.30km 幅員5.5(7.0)m			300,000			270,000	30,000	
事業概要										
	 <p>①整備済区間と未整備区間の境</p>			 <p>②狭隘箇所</p>			 <p>標準横断面 全幅7.0m (車道5.5m)</p>			
	<p>主な受益対象 自動車:1,047台/日(計画交通量)</p> <p>期待される効果 走行時間の短縮、走行経費の減少 地域間交流の促進</p> <p>費用便益比(B/C) ※B=便益、C=費用 1.1</p> <p>人口減少を踏まえた将来の活用見込み ・交通の円滑化が図られ、地域間交流や観光振興等に寄与する。 ・計画交通量には将来推計値を用い、人口減少を見据えた道路計画としている。</p>									
計画熟度	地域からの要望経緯及び地域の関わり	毎年、巖橋小川村境間改良促進期成同盟会から懸案箇所の改善要望が挙げられており、事業の理解は得られている。								
	事業説明等の経緯	期成同盟会及び地区役員を通じ、整備内容について沿線地区の合意形成が図られている。								
評価結果	所管課の意見	地域の重要な生活道路であり、道路改築により安全で円滑な走行空間を確保する必要があることから、事業着手が妥当と判断する。						妥当性評価※	優先度評価※	
	コンプライアンス・行政経営課の意見	所管課の意見が妥当であると判断する。						○	3.0	
	県の評価案	事業着手	評価監視委員会意見	—		評価の決定	事業着手			

※【妥当性評価】事業実施の妥当性を「○」「×」で判定 ※【優先度評価】事業着手の優先度を5点満点で評価(数字が大きいほど優先度が高い)

事業名		道路改築(小規模)		路河川名等	(主)信濃信州新線					
事業毎の通番		6	市町村名	長野市	箇所名(ふりがな)	上楠川(かみくすかわ)				
事業の位置づけ	県総合5か年計画における位置づけ	1-6 ① 県民生活の安全確保		SDGsの関連目標						
	関連する計画や重点施策	信州みちビジョン		関連する事業プロジェクト						
	現状と課題	当路線は長野市鬼無里と戸隠、信濃町を結ぶ路線であり、沿線住民の重要な生活道路となっている。当該区間は幅員も狭く車輦(特に大型車)の通行に支障をきたしており、円滑な交通の支障となっていることから、対策を実施し、安心・安全な通行を確保したい。								
	事業目的	道路改築により幅員狭小区間の解消し、道路利用者の安全性、利便性の向上を図りたい。								
着手年度		2025年度(令和7年度)		事業期間	7年間	事業費(千円)	財源内訳(千円)			
完了年度(予定)		2031年度(令和13年度)					国庫	その他	県債	一般財源
全体事業内容		道路改築工 延長0.30km 幅員5.5(7.0)m			300,000			270,000	30,000	
事業概要										
										
	 <p>①狭隘箇所</p>			 <p>②狭隘箇所</p>			 <p>標準横断面図 全幅7.0m (車道5.5m)</p>			
事業効果	主な受益対象	自動車:1,047台/日(計画交通量)								
	期待される効果	走行時間の短縮、走行経費の減少 地域間交流の促進				費用便益比(B/C) ※B=便益、C=費用	1.2			
	人口減少を踏まえた将来の活用見込み	<ul style="list-style-type: none"> 交通の円滑化が図られ、地域間交流や観光振興等に寄与する。 計画交通量には将来推計値を用い、人口減少を見据えた道路計画としている。 								
計画熟度	地域からの要望経緯及び地域の関わり	毎年、巖橋小川村境間改良促進期成同盟会から懸案箇所の改善要望が挙げられており、事業の理解は得られている。								
	事業説明等の経緯	期成同盟会及び地区役員を通じ、整備内容について沿線地区の合意形成が図られている。								
評価結果	所管課の意見	地域の重要な生活道路であり、道路改築により安全で円滑な走行空間を確保する必要があることから、事業着手が妥当と判断する。						妥当性評価※	優先度評価※	
	コンプライアンス・行政経営課の意見	所管課の意見が妥当であると判断する。						○	3.0	
	県の評価案	事業着手	評価監視委員会意見	—		評価の決定	事業着手			

※【妥当性評価】事業実施の妥当性を「○」「×」で判定 ※【優先度評価】事業着手の優先度を5点満点で評価(数字が大きいほど優先度が高い)

(様式1-2) 新規評価シート

事業名		道路改築(小規模)		路河川名等	(主)長野戸隠線					
事業毎の通番		7	市町村名	長野市	箇所名(ふりがな)	尾上(おかみ)				
事業の位置づけ	県総合5か年計画における位置づけ	1-6 ① 県民生活の安全確保		SDGsの関連目標						
	関連する計画や重点施策	信州みちビジョン		関連する事業プロジェクト						
	現状と課題	当路線は長野市街地と長野市戸隠を結ぶ路線であり、沿線住民の重要な生活道路となっている。当該区間は急カーブで見通しが悪く、円滑な交通の支障となっていることから、対策を実施し、安心・安全な通行を確保したい。								
	事業目的	道路改築により急カーブを解消し、道路利用者の安全性、利便性の向上を図りたい。								
着手年度		2025年度(令和7年度)		事業期間	5年間	事業費(千円)	財源内訳(千円)			
完了年度(予定)		2029年度(令和11年度)					国庫	その他	県債	一般財源
全体事業内容		道路改築工 延長0.30km 幅員5.5(7.0)m			200,000			180,000	20,000	
事業概要										
										
										
事業効果	主な受益対象	自動車: 2,339台/日(計画交通量)								
	期待される効果	走行時間の短縮、走行経費の減少 地域間交流の促進				費用便益比(B/C) ※B=便益、C=費用	1.2			
	人口減少を踏まえた将来の活用見込み	・交通の円滑化が図られ、地域間交流や観光振興等に寄与する。 ・計画交通量には将来推計値を用い、人口減少を見据えた道路計画としている。								
計画熟度	地域からの要望経緯及び地域の関わり	毎年、主要地方道長野戸隠線整備促進期成同盟会から改良要望が挙げられており、事業の理解は得られている。								
	事業説明等の経緯	期成同盟会及び地区役員を通じ、整備内容について沿線地区の合意形成が図られている。								
評価結果	所管課の意見	地域の重要な生活道路であり、道路改築により安全で円滑な走行空間を確保する必要があることから、事業着手が妥当と判断する。						妥当性評価※	優先度評価※	
	コンプライアンス・行政経営課の意見	所管課の意見が妥当であると判断する。						○	3.0	
	県の評価案	事業着手	評価監視委員会意見	—		評価の決定	事業着手			

※【妥当性評価】事業実施の妥当性を「○」「×」で判定 ※【優先度評価】事業着手の優先度を5点満点で評価(数字が大きいほど優先度が高い)

事業名		道路改築(小規模)		路河川名等	(一)箕作飯山線					
事業毎の通番		8	市町村名	野沢温泉村	箇所名(ふりがな)	東大滝(ひがしおたき)				
事業の位置づけ	県総合5か年計画における位置づけ	1-6 ①県民生活の安全確保		SDGsの関連目標						
	関連する計画や重点施策	信州みちビジョン		関連する事業プロジェクト						
	現状と課題	一般県道箕作飯山線は野沢温泉村東大滝地区と栄村を結ぶ重要路線である。当該区間は幅員狭小のためすれ違いが困難であり、車両の走行性向上のためにも整備が急がれる。								
	事業目的	道路改築により、通行機能向上と安全と安心を確保することを目的とする。								
事業概要	着手年度	2025年度(令和7年度)		事業期間	5年間	事業費(千円)	財源内訳(千円)			
	完了年度(予定)	2029年度(令和11年度)					国庫	その他	県債	一般財源
	全体事業内容	道路改築工 道路改築工 延長0.10km 幅員5.5(9.0)m				200,000			180,000	20,000
事業概要										
										
										
事業効果	主な受益対象	自動車:374台/日(計画交通量)								
	期待される効果	通行車両(緊急車両等含む)の安全確保、走行時間の短縮 地域間交流の促進				費用便益比(B/C) ※B=便益、C=費用	1.2			
	人口減少を踏まえた将来の活用見込み	地域の重要な生活を支える道路とし、将来にわたり利用される。								
計画熟度	地域からの要望経緯及び地域の関わり	野沢温泉村から北信建設事務所へ毎年要望がある。								
	事業説明等の経緯	地域からの要望を元に整備方針、道路事業の整備について合意形成が図られている。								
評価結果	所管課の意見	地域の重要な生活道路であり、道路改築により安全で円滑な走行空間を確保する必要があることから、事業着手が妥当と判断する。						妥当性評価※	優先度評価※	
	コンプライアンス・行政経営課の意見	所管課の意見が妥当であると判断する。						○	3.2	
	県の評価案	事業着手	評価監視委員会意見	—		評価の決定	事業着手			

※【妥当性評価】事業実施の妥当性を「○」「×」で判定 ※【優先度評価】事業着手の優先度を5点満点で評価(数字が大きいほど優先度が高い)